

■ドイツ：系統運用者、来年の日食時の系統運用に危機感

2014年9月7日付の現地紙は、ドイツの系統運用者は2015年3月20日に現われることになっている部分日食に危機感を募らせている、と報じている。もし当日日食時に一点の雲も空にかかっていなかったとしたら、全国の太陽光設備からの出力は数分のうちに劇的に減少し、系統は危機的なまでに不安定化するおそれがある。太陽光設備の累計設置容量は日食の頃までには4,000万kW近くにまで増加すると見られるが、これほどの出力の急激な低下に対して、系統のバランスを維持することは系統運用者にとって非常に困難となる。そのため、系統運用者は日食の日に大規模太陽光設備からの電力を一切受け付けないことを検討しているという。